



広島女学院同窓会 東京支部ニュース

編集・発行 東京支部役員会

2019. 5. 20

第 73 号

今年度の聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むことを。

希望はわたしたちを欺くことはありません。

ローマの信徒への手紙 5 章 3 節～5 節

今春、バチカンを訪問して思ったこと

セツコ・サーロー (中村・高 2/大英 2)

この 3 月、4 年ぶりにローマを再訪する機会を得ました。世界の各地で人道的な活動をしている宗教家の国際団体が反人道的犯罪の犠牲者たちの子孫で、各地で勇敢に証言活動をしている 4 人の 13 歳の女子生徒をバチカンに送り、直接法王に彼女たちの苦難を訴えてもらおうというものでした。

長崎からの被爆 3 世、ホロコストの生存者の孫、カナダの先住民、そして、イスラエルとの武力衝突が続き、通学さえも危険なパレスチナ・ヨルダン川西岸地区に住む中学生が選ばれました。このパレスチナ人の少女、ジェナは緊張状態の続く彼女の住む町の厳しい状況について、毎日コツコツと、ソーシャルメディアを使って世界中の 30 万人もの人達にメッセージを発信していることを知り、心を打たれました。

私たち一行は、法王の近くの席に招かれましたが、ミサが終わると法王は足早に私たちの所に来て下さいました。法王は車椅子の私のために前かがみになってくださり、硬い握手を繰り返しながら、私の三つのストーリーを聞いてくださいました。

法王へプレゼントをすることを薦められて用意をしたジョン・ハーシーの著作「ヒロシマ」(初版)をさしあげ、この本は占領下の日本人さえも知らされなかった広島の被爆の惨状を全世界に向かって初めて紹介した意味のある名著であり、本の中にはクラインゾルグ神父や谷本牧師のことが書かれていることを説明しました。

次に、ICAN の活動中に、常時バチカンから精神的、道徳的支持を受けたこと。さらに国連にて 2017 年



7 月 7 日、核兵器禁止条約が採択され、この歴史的な条約の批准を目指して、世界各国の先頭にたってリーダーシップを担ってこられたことへの深い感謝の気持ちを伝えました。

最後に今秋、法王が訪日されるにあたり、日本が唯一の核兵器被爆国としてその非人道性をどの国よりも熟知しており、核兵器の残忍性を警告する責任があることを自覚し、核兵器禁止条約発効に向けて署名と批准をすることを日本政府に対して、強く促していただきたいと求めました。法王は、何度もうなずきながら、傾聴してくださいました。

トロントに戻って来てからも、戦火の町にてパレスチナの危険な状況を世界中の人にわかってもらおうと、毎日、発信している 13 才の少女のことを思っています。被爆をした当時、13 才だった私自身の体験と重なり、悲しさと憤りが蘇ってくるのです。

豊洲市場見学・築地場外で寿司ランチ・隅田川クルーズ

東京支部主催 2019 あやめの会

今年で6回目の「あやめの会」は、皆さまのリクエストが多かった
豊洲新市場見学をメインに、初めての貸し切りバスツアーを企画しました。



東京駅丸の内口へ集合し、築地場外市場で約1時間のフリースタイル(ショッピングマップをプレゼント)を楽しんだ後、築地本願寺前の「鮎 竹若 別館」で握り寿司のランチを頂きます。
豊洲市場では専門ガイドの案内で約1時間半かけて内部を見学し、その後、勝鬃橋に近い聖路加ガーデン前から大型観光船で約30分の隅田川クルーズです。船上からしか見ることのできない景色をお楽しみください。浅草で解散ですので、お時間が許す限り、引き続き浅草散策も良いですね。この機会にお友達とお誘い合わせのうえ、新・旧のTOKYOをお楽しみください。

2019年6月22日(土)

集合：9：50 東京駅丸の内中央口正面
丸の内ビル前 <時間厳守>

解散：15：30 頃 東武線 浅草駅前

会費：7,800 円

(バス・食事・ガイド料・乗船料他)

人数：先着 40 名

締切：6 月 10 日(月)まで

(定員になり次第締め切ります)

申込先：滋野 090-1766-4342

桜井 090-3063-9751

東京支部 gaines_tokyo@yahoo.co.jp

*お名前・卒回・電話番号をお知らせください。

*お子様：2歳まで無料(座席、食事なし)、3歳以上は大人と同料金。

*当日は歩きやすい靴・服装でご参加ください。雨天決行です。



JR各線「東京駅」丸の内中央・南口より徒歩約5分
東京メトロ丸の内線「東京駅」M4(4b)出口(地上)目の前
集合場所の★印の部分が、M4(4b)より階段の出口となります。

千葉支部もより会 ＜水の郷 佐原の街 散策＞ 6月7日（金）

J R 佐原駅 改札口、11時30分集合
駅から重要伝統的建造物保存地区まで散策、
昼食後、ゆったりと舟に乗り、街並みを見上げます。
伊能忠敬旧宅、山車会館 にも寄ります。
昼食と舟は予約します。15時頃 現地解散。

会費：2500円（昼食代）、

入館料・乗船料は千葉支部が負担

申し込み 村中 090-1774-5200

soleil-yoko.0219@ezweb.ne.jp

締め切り 5月24日（金）



神奈川支部あやめ会 ＜白井京子さん 小説朗読会＞

6月18日（火）

13:30～受付 14:00 開始

横浜開港記念会館 2階 7号室

（横浜市中区本町1丁目6番地）

みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口徒歩1分

会費：500円

申込先：常泉 046-293-6175 (Tel/Fax)

jyogakuin.kanagawa@gmail.com

支部会費納入のお願い！！

日頃より支部活動に対しましてご支援・ご協力を頂き感謝いたします。

私たちの活動は会員の皆様方の会費に支えられております。

2019年度の会費(2,000円)の納入をお願いいたします。

80歳以上の方は会費免除ですが、お気持ちがありましたらお願いいたします。

振替用紙にはできるだけ電話番号をご記入下さい。

経費節約のため、ご案内の電子化を図っています。

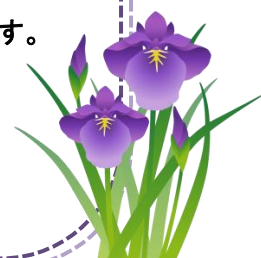
振替用紙にメールアドレスを記載して頂く欄を設けました。

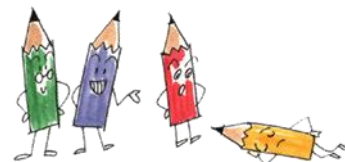
東京支部からのご案内以外には使いませんので、ご協力、お願いいたします。

同封の振替用紙の他に、銀行振込もご利用いただけます。

＜振込先＞三菱 UFJ 銀行 高田馬場支店

普通預金 0473771 広島女学院同窓会東京支部





英 BBC 放送 “100 Women”

おおこだ ゆき

大小田 結貴さん (高校 65 回)



イギリスの BBC 放送は “100 Women” として、毎年、人々に感動や影響を与えた世界各国の女性 100 人を選出しています。日本人として 2016 年に初めて小林麻央さんが選ばれ、2017 年は伊達公子さん。そして 2018 年は東京五輪での通訳を目指してスマートフォンで英語を学ぶ高見澤摂子さん(90 歳)と、天体観測で新発見をした同窓生の大小田結貴さんの 2 人が選出されました。

今年 1 月 11 日の中国新聞セレクト「高校人国記～広島女学院特集」の第 1 回にも掲載された大小田さんにメールでインタビューさせていただきました。

.....

◆ 自己紹介をお願いします。

大小田結貴です。女学院中高を卒業後、九州大学理学部物理学科に進学し、現在は東大大学院で誕生したばかりの星について研究しています。

好きなことは、旅行に行くこと、運動すること、友達と買い物に行くこと、美味しいお店を探すこと、映画を観ること、ぐっすり寝ることなどです！

◆ 女学院時代の思い出は？

思い出はたくさんありますが特に記憶に残っているのは、高 1、高 2 の時、体育祭での応援団に参加したこと。ダンスは得意ではなく、友人に誘われて参加したものでしたが、皆で振り付けを覚えて放課後練習したり衣装を用意したりすることがとても楽しかったです。

◆ 中学、高校時代のクラブは？

中学では 1 年間ほど放送部に、高校では水泳部に所属していました。習い事で習字とドラムをしていたのもあり、あまり部活に打ち込んではいませんでした。

◆ 宇宙に興味を持ったきっかけは？

高校 2 年生の時、超光速粒子(ニュートリノ)に関する研究についてテレビで紹介されており、その研究内容に興味を持ちました。現在私が携わっ

ている研究内容とは異なりますが、物理や宇宙に興味を持つきっかけとなりました。

◆ 研究内容を簡単に教えてください。

誕生したばかりの星の周りに、回転する円盤を発見しました。これまでこのような円盤は、星が誕生してから 1 万年から 10 万年程経ったのちに形成されると考えられていました。しかし今回私が研究した星は、誕生してから 1000 年程度の若い星です(この星が若いことは以前から知られていました)。これほど若い星の周りに円盤がすでに形成されていることは、今回の研究で初めて明らかになりました。

◆ これからのビジョンは？

現在修士 2 年生で、来年度から 3 年間は同大学院博士過程で研究を続ける予定です。その後のことは今のところ考えていません。

◆ 「女性 100 人」に選ばれた気持ちは？

はじめは驚きと戸惑いでしたが、今は大きな喜びを感じています。このような素晴らしいものに選んで頂けたのは研究を十分にサポートして下さった指導教官の先生や助教の先生、共同研究者の方達のおかげです。これを機に、私の研究について多くの方に知って頂けたり、興味を持って頂けたら嬉しいです。

手芸部の活動報告

今年に入り2月3日（日）、4月7日（日）の2回集まりました。どちらの日もお天気にも恵まれ、学校の懐かしい話などをしながら手を動かしました。

第一回目の活動は大之木都茂美さん（高6）のご指導の下、おしゃれなタオル作り。タオルを引っ掛ける部分をかぎ針で編むのですが、これは大之木さんが数十年前にご友人からの贈り物をご自身で編み図に起こされ作り始めたものだそうです。安売りのタオルも大変身！何より洗濯してもすぐ乾きそうなところがいいですね。また、事前にミシン縫いしておいたドレスタオルの土台にリボンやレースを縫い付けて“盛っていく”という、かぎ針を使わない作業もしました。

第二回目では、ペットボトルのふたなどを利用したミニピンクッションと、柏木惇さん（福富／高3）からアイディアをいただいたコードホルダー、ペンスタンドを作りました。どれも基本的にはハサミや両面テープ、ボンドを使って切り貼りする簡単な作業です。すぐに慣れて思いのほかたくさん完成させることができました。（ペンスタンドは、作業中にハサミやペンを立てて便利さを実感しました！）

引き続き部員、寄付（手芸用品、タオルなど）や今後に向けてのアイディア、また在宅で縫物等のお手伝いして下さる方の募集をしております。手芸部の活動予定もお知らせしますので、ご興味がありましたらぜひ東京支部宛にご連絡ください！

次の活動は6月9日（日）を予定しています

gaines_tokyo@yahoo.co.jp



サーロー節子氏 特別講演会



2018年11月23日、卒業生のサーロー節子さんをお迎えして、特別講演会「キリスト教主義女子教育と平和～私が受け取ったもの、あなたに託したいもの～」が開催されました。約1,000人もの聴衆を前にサーローさんは力強いメッセージを発信されました。サーロー節子さんの言葉を広島女学院に集う私達が繋いでいき、これから、日本として、また一人ひとりとして、平和を実現するために何ができるのかを考え、思いだけでなく行動していく使命を新たに与えられました。

【講演要旨】

あまりに美しく再生した広島に絶句しました。しかし、広島の心は過去73年間どのように成長しているのか、どのような市民の歩みがあるか、それらを私は広島滞在中にできるだけ多く学びたいと思っています。

私に関わる団体、核兵器廃絶国際キャンペーンICANが昨年12月ノーベル平和賞を受賞しました。70年余り戦い続け、昨年7月7日についに国連で核兵器禁止条約が採択されたのでした。ノーベル平和賞受賞はそれから3か月後のことでした。この平和賞は広島と長崎の被爆者をはじめ、核兵器廃絶に努力するすべての人々のための賞です。オスロまで、母校広島女学院大学の学生・先生たちが、折り鶴を届けてくださいました。後輩たちの計らいに胸が熱くなりました。

大学卒業後64年が過ぎて振り返りますと、広島女学院での10年間は私の人格形成や生涯の成長につながる基本的な指標を与えられたと思います。

1944年、広島女学院高等女学校に入学しました。そして1945年8月6日、現在の東区二葉の里にあった第二総軍司令部ですさまじい閃光に包まれ、体ごと吹き飛ばされました。気が付くと辺りは真っ暗で、軍

人さんに左肩をつかまれ、「あきらめるな。左のほうに光が見えるだろう。そちらに向かって這って出るんだ」と言われ、懸命に外に這い出しました。女学院のクラスメイト達は雑魚場町(現国泰寺町)で作業中にほぼ全滅しました。姉と4歳の甥も、水を求め、もがき苦しみながら亡くなりました。一発の原爆は人間の尊厳も、家庭の営みも、一瞬ですたずたにしてしまいました。それが私にとって怒りと行動の原点となりました。

生き延びた者の命の意味を探し求める日々が続きました。谷本清牧師の姿に接し、「愛と行動の人」になろうと思いました。16歳の時に洗礼を受け、YWCAの活動を通して広島大学の森瀧市郎先生から学んだのは、人類をおびやかす核兵器を告発し、絶対平和を実現する思想でした。広島女学院大学広瀬ハマコ学長からは、アメリカの大学で社会福祉学を学ぶことを促され、1954年夏にアメリカに渡りました。

1954年、アメリカの水爆実験で第五福竜丸が死の灰を浴びました。新聞記者からの取材に、「核実験はただちに停止されるべきだ」と答えたことが紙上に載ると、脅迫状が届くようになり、敵国の人間として袋叩きにされる恐怖と孤独に苦しみました。しかし、愛する人たちの命を二度と無駄にしてはならない、私は広島を語り続ける、と決心しました。北アメリカで被爆者として生きる人生の新たな第一歩でした。

1955 年カナダ人教師と結婚し、カナダのトロント大学大学院で社会福祉を学びました。卒業後、二児を育てながら、教育委員会などの場で、広島・長崎を語り始めたのです。しかし、カナダ人の大半も原爆投下を正当化していました。戦時中、日本軍に虐待された家族のことを涙ながらに訴えられたことも多くあります。彼らの痛みを耳を傾け、私自身日本人として持っている罪悪感を伝え、詫び、広島や核問題に閉ざされたアジアの若者たちの心を開いて和解へと導く努力をしています。被害者であったと同時に加害者であったことを認めなければ、聞く耳をもってくれず、心を開きもしません。アジアの戦後は終わっていません。

過去数十年間の北米における反核運動の発展には、目を見張る思いがします。最悪な非人道兵器を国際法で禁止しようという機運は、予想以上の速さで世界的な運動となりました。

ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)は 532 の世界の市民団体からなる連合体です。103 か国で活動を続けています。長年の反核運動の中で、こんなに知性とエネルギーに満ち、献身的な行動力を持つ若い世代が中心となった運動を私は見たことがありません。

2017 年 3 月、遂に核兵器禁止条約交渉会議が国連本部で始まりました。議場で発言する機会を得て、「73 年前に広島・長崎で虐殺された幾十万人の霊も、ここで会場の成り行きを見えています。彼らの死が無駄でなかったと思えるような交渉をしてください」と各国代表に強く要請しました。外交官たちが「心動かされた、ありがとう」と駆け寄ってきたときは、うれし涙がこぼれました。

2017 年 7 月 7 日、ニューヨークの国連本部において、122 か国の賛成多数で核兵器禁止条約が成立しました。「核兵器の終わりの始まり」、この条約採決に沸く議場で、この言葉は私が万感の思いで口にしたものです。50 か国の署名と批准を獲得して、できるだけ早くこの禁止条約を発効させることが私たちの第一の課題です。しかし、日本政府はこの条約の批准を拒



否しています。

皆さん、東京に向けて広島の市民の怒りと行動を発信してください。私は命ある限り、人間が人間らしく生きることができる社会を、平和で安全で公正な世界を作り出すために、核保有国と核依存国に行動を迫り続ける覚悟です。皆さん、この目標に向かって一緒に行動をとりませんか。一緒に前に進みませんか。

核兵器禁止条約が採択された 3 か月後に、ノーベル委員会は 2017 年のノーベル平和賞を ICAN に授賞することを発表しました。私が ICAN を代表して受賞のスピーチをすることを謹んでお受けしました。何らかの形で広島を持っていきたいと思い、母からもらった留袖をドレスに仕立てて、授賞式に着用しました。演説中の私の思いは、広島・長崎で亡くなった方々の声なき声でした。世界中の人たちがあの人たちの声に耳を傾けているという深い満足感を覚えました。

私は 13 歳の少女であった時に被爆しました。くすぶるがれきを押しつけながら光に向かって動き続けました。そして生き残りました。今、私たちの光は核兵器禁止条約です。皆様に、広島の廃墟の中で私が聞いた言葉を繰り返したいと思います。

「あきらめるな。動き続けろ。押し続けろ。光が見えるだろう。そこへ向かって這っていけ」

核兵器禁止条約の第一歩はまず出来上がりました。でも核廃絶までには長い行程があります。遠い、遠い行程があります。希望と勇気と粘り強さを持って、その目的に向かって動き続けましょう。粘り続けましょう。頑張りましょう。

(広島女学院大学 HP より抜粋)

クリスマス礼拝 & 森田裕美さんの講演に参加して

石原奈保（横田／高 45）

2018年12月8日（土）、日本基督教団銀座教会にて東京支部のクリスマス礼拝と、7月の西日本豪雨のため延期となっていた森田裕美さん（高44・中国新聞論説委員）の講演が開催されました。

そして、なんと、なんと！！ノーベル平和賞を受賞されたサーロー節子さんが帰国前日にもかかわらず私達同窓生とクリスマス礼拝を共にしたいと、竹内道さん（高26）と共に出席してくださいました。



第1部の礼拝では、学生時代にたくさん読んだ「ルカによる福音書2章8～14節」に基づいて銀座教会の高橋潤牧師から「大きな喜び」と題した説教をいただき、「クリスマスは天使から伝えられた喜びの宣言であり、人間の闇を知りながら神の光を知ることができ、世界の片隅で忘れられている人を神は見つめ待ち続けてくださることを喜びとしましょう」とお話しをいただきました。

礼拝終了後に関東ブロック長 坂下恵さんから「原爆被爆者追悼礼拝～夏雲の集い～」の31年間の歩みの報告と、巡り合えたヘンリー市川氏の原爆画を世界に発信するため、ホームページ制作を企画しているとのお知らせがありました。

プライベートタイムにも関わらずサーロー節子さんから「皆さんと礼拝を持てたことは喜びです」とメッセージを頂き、全員で記念撮影をしました。



第2部は森田裕美さんの『被爆体験』を伝えるということ」と題しての講演。

女学院では授業以外の学びの機会にも恵まれ、碑めぐりボランティアを通して将来は国際的な報道や平和関連の報道に携わりたいと考えていらしたそうで、執筆された記事を見せていただきながら、「ペンを握る人間として読者の心に響くような言葉を書きたい」とお話しいただきました。なお、『中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター』のホームページでも5か国語で様々な情報を発信しているそうですので是非ご覧ください。



第3部はお待たせしました、茶話会です！やはりこれがなければ私達女子は始まりませんよね。美味しいケーキをお供にそれぞれのテーブルでお話が盛り上がりました。

最後に清水富士子さん（高14）からミャンマーの小学校新校舎落成式に参加された報告と、これからも支援にご協力くださいとのお話がありました。



東京でもこうして広島女学院の輪があることに感謝しております。私は初めての参加でしたが、ほんのひととき女学院生に戻って良い時間を過ごさせていただきました。

サーロー節子さんに トロント大学が名誉博士号授与 6月4日に授与式 中国新聞（2019年3月2日）より

カナダ在住の被爆者サーロー節子さん(87)写真に母校トロント大が名誉博士号を授与する。これが1日、決まった。長年にわたる反核運動に取り組み、一昨年7月の核兵器禁止条約の実現に大きく貢献。非政府組織(NGO)「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)を代表してノーベル平和賞を受けたことが評価された。

最高裁判事やバルセロナ五輪の競泳男子金メダリストら12人とともに、6月4日に同大である授与式に臨む。

サーローさんに 名誉博士号授与

母校トロント大



サーローさんは広島女学院大を卒業後、1年間の米国留学を経て被爆10年後の1955年にトロント大大学院へ進学。修士号を取得し、ソーシカルワーカーとして勤務しながら反核運動に力を注いできた。

サーローさんは「慣れない英語でソーシカルワークを必死に学んだ大学院の2年間は、民主主義と平等という価値を知り、実践した日々。核兵器なき世界を追求する自らの土台をつくってくれた母校の申し出に、胸を熱くしている」と話している。(金崎由美)

サーローさんのドキュメンタリーフィルムの 日本語字幕制作にご協力を！

竹内道さん(ニューヨーク地区長/高 26)が主になって制作されたサーロー節子さんのドキュメンタリーフィルム *"The Vow from Hiroshima"* (広島からの誓い) が4月末に完成しましたが、日本語字幕を入れるための費用として約百万円が必要となり、関東ブロックからも5万円の寄付をさせて頂きました。ホームカミングデーでの寄付の呼びかけにもたくさんの方が応じて下さいましたが、引き続き同窓会本部でとりまとめて下さっていますので、ご協力をお願いいたします。振込先は以下の通りです。

郵便振替口座番号：01360-1-24821

加入者名：広島女学院同窓会

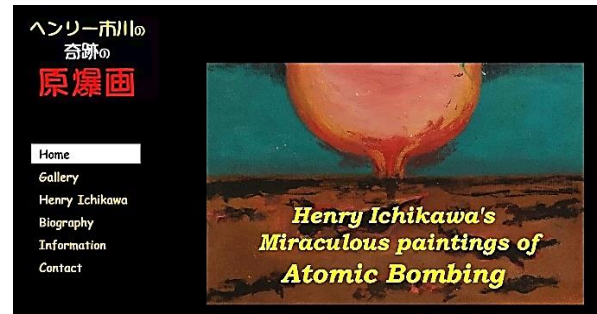
※通信欄に「サーローさんのDVDへの寄付」とご記入ください。

ホームページ 「ヘンリー市川の奇跡の原爆画」 公開！

<https://www.hhichikawa.net/>

ヘンリー市川(本名 市川 宏)氏が兵隊として被爆直後の広島・長崎に入った体験をもとに約百枚にも上る「原爆画」を遺していることは、ほとんど世に知られていません。

昨年の夏に広島女学院高校で「ヘンリー市川展」を開催したことがテレビや新聞に取り上げられ、昨年11月には、サーロー節子さんにも見て頂く機会を得ました。サーローさんの「頑張ってください！ではなく、発信してください！一緒に頑張らしましょう！」という言葉に突き動かされ、同志と共にヘンリー市川氏の原爆画のホームページを制作し、4月に公開いたしました。



長年アメリカで平和活動をしているスナイダー田村秀子さん(高 4)から、「同感出来る原爆画を初めて拝見、感動致しました。技術と思考、気力が結びつき、震える思いが湧きます。あの日の壮烈な経験を人間として思い起こさせる画面…有難うと故人に感謝を捧げます。」というメッセージを頂き、拡散にもご協力頂いております。

今は二ヶ国語ですが、今後、若い世代の協力を得て多言語で世界に発信していきます。このサイトをご覧になった方々が、ご自分の思いを込めてさらに広めて下さることを願っております。

坂下 恵(関東ブロック長)

2019年度 全国代表者会議 報告

4月19日(金)、ゲーンズホール別棟チャペルで同窓会全国代表者会議が開催されました。全国の代表と本部幹事46名が参集。関東ブロックからはブロック長 坂下 恵(杉田/文英 1)と神奈川支部役員の 中村 香さん(中川/高 35)が出席しました。

礼拝では、小田部三恵子牧師から「希望は失望に終わることはない」という題でメッセージを頂き、「希望は酸素のようなもので、人は希望が無いと生きられない。諦めないで一步踏み出すことが大切。」と教えて頂きました。

昨年度の報告と今年度の計画が承認された後、各ブロックの活発な活動報告があり、終了後、校地内の原爆死没者慰霊碑の前で讃美歌とお祈りを捧げました。



ホームカミングデー 報告

翌4月20日(土)には、リーガロイヤルホテルでのホームカミングデー。テーマは「きっと忘れない一日に」。「同窓生の歌～どんなに時が流れても」の全員合唱で開会しました。



礼拝では、湊晶子 院長・学長から「人生の第一ボタンを正しく掛けましょう。もし間違えたら掛け直し、最後の一息まで生き抜きましょう！」と力強いメッセージを頂きました。



大矢会長は、開会挨拶の中で、一年延長された130周年記念募金への更なる協力を呼びかけられました。

続いて、NHKアナウンサー杉浦圭子さん(高 29)の講演「ヒロシマを語る言葉」。広島弁が抜けず、自分の言葉で語れないことにコンプレックスを感じていらした時に広島へ転勤になり、被爆者や活動家の方々への取材を通して命の尊さを学

ばれたとのこと。その後、被爆者の手紙を朗読する番組を6年間担当される中で2200通を超える手紙の中に同じ体験がひとつもないことに気づかれ、サーロー節子さんへのインタビューでは、一方的に体験を語るのではなく、まず率直にお詫びをしてバリアを取り除くことを教えられたそうです。大野充子さんの絵本「かあさんの歌」の朗読と子守唄は心にしみました。



高田憲治園長の食前の祈りで会食が始まり、やがて、石原有希子さん(高 56)のマリンバ演奏。浅田真生さん(高 63)のドラムスとピアノも加わっての華やかな演奏に会場が湧きました。

讃美歌、校歌の後、井口めぐみ実行委員長(高 19)のにこやかな挨拶をもってお開きとなりましたが、今年も参加者が300名を超え、盛会でした。

終了後、呼びかけのあったサーロー節子さんのDVDの日本語字幕制作のための寄付に大勢の方が応じる姿が見られました。(坂下)



2018 年度 広島女学院同窓会東京支部 会計報告

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

収 入		支 出		
費 目	金 額	費 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	624,102	支部ニュース費	259,183	印刷代、郵便送料、封筒代
支 部 会 費	610,000	役 員 会 費	114,560	役員会会場費、交通費
受 取 利 息	2	支 部 活 動 費	116,367	あやめの会、クリスマス会、手芸部材料費
手 芸 品 売 上	53,000	通 信 事 務 費	69,164	支部ニュース以外の通信費
寄 付	1,000	関東ブロック分担金	87,393	夏雲の集い、クリスマス会、サーローさん寄付
		次年度繰越金	641,437	
合 計	1,288,104	合 計	1,288,104	

上記の通り会計報告をいたします。

2019 年 3 月 31 日 会計 松岡理乃

監査の結果、収支報告に相違ありません。

2019 年 4 月 5 日 会計監査 重本ゆり

2019 年度 東京支部役員

支 部 長	白井京子 (現・瀧口) 高 23、文英 5
副支部長	滋野順子 (前埜) 高 19
副支部長	桜井悦子 (瀬川) 高 23、文英 5
書 記	佐藤美代子 (池田) 高 22、文日 4
会 計	松岡理乃 (木沢) 高 30
宗教委員	千代崎満子 (白根) 高 33、文英 15
編集長・関東ブロック長	坂下 恵 (杉田) 文英 1
編集委員	小林悦子 (土生) 高 46
〃	平田香里 (高原) 高 47
実行委員	小池明子 (田辺) 高 14
〃	西山朋子 (佐々木) 高 22、文英 4
〃	木村貴子 (阿波) 高 32、文英 15
〃	氏原歌子 (佐伯) 高 32、文英 14
会計監査	重本ゆり (重本) 文英 8

今年度の企画

- * 支部ニュース発行
73号(5月)、74号(11月)
- * あやめの会 6月22日(土)
豊洲市場見学と隅田川クルーズ
築地場外で寿司ランチ
- * 夏雲の集い / 関東ブロック主催
7月6日(土) 銀座教会
原爆死没者追悼礼拝
合唱 クワイヤアイリス(広島から)
- * クリスマス会 (12月)
- * 手芸部活動
(原則 毎月第一日曜日・@千駄ヶ谷)



夏雲の集い 2019

同窓会関東ブロック主催
～ 原爆死没者追悼礼拝 ～

関東ブロックでは、母校での 350 名の犠牲者を追悼し平和に向き合う集会として、故 山本（秦）知子先生の提唱による「夏雲の集い」を 1988 年から毎年開催してきました。今年は銀座教会での追悼礼拝に続き、広島から“クワイヤアイリス”の皆さんをお迎えして「ヒロシマの河」（四国三郎作詞、小玉好行作曲）を歌って頂きます。心に響く歌です。他支部の方、同窓生以外の方もお誘いください。

7月6日(土)

13時30分～16時30分

(受付 13 時より)

日本基督教団 銀座教会 大礼拝堂

東京都中央区銀座 4 丁目 2 番 1 号

JR 有楽町駅中央口下車 徒歩 5 分

東京メトロ銀座駅 C6 または C8 出口よりすぐ

13:30～ 礼拝・説教（高橋 潤 牧師）

14:00～ “クワイヤアイリス コンサート”

指揮：小玉 妙

曲目：平和の祈り、Amazing Grace、
Ave Maria、ヒロシマの河、他

15:30～ 茶話会



「リングヒロシマ」

広島国際大学元教授の中村朋子さん（伊賀・高 17 / 大英 17）らが編集されたサイトで、3500 もの原爆関連の文献を多言語で検索できます。「リングヒロシマ」で検索してご利用ください。



伝言板

サーロー節子さんに寄稿して
頂けました。感謝です！
DVD 字幕への寄付をよろしく！

あやめの会、夏雲の集い、
手芸部活動へのご参加を
お待ちしております！

支部活動へのご要望を
お寄せください！

会費も よろしく
お願いします

毎月第 2 火曜日、銀座教会での役員会の後、ランチしながらおしゃべりを楽しんでいます。一緒にいかがですか？